

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	51	毎月行事を計画しているが、その際家族には通信や来訪時に事後報告するのみで、家族と入居者様に関わる機会を少なくしている。	家族と入居者様がふれあう機会を多くもつ。	前年度同様、2ヶ月に1回外食をする機会を設け、家族にも同行して頂けないかお誘いする。	12ヶ月
2	2・16	地域と関わる機会が少なく、近所の方との接点が少ない。	地域との関わりをできる丈多くもつ。	夏祭り・もちつき・防災訓練など、ホームの年間行事に参加声かけをする。また、ホームの入居者様・職員が地域の行事に参加する。	12ヶ月
3	8・14	各項目に挙げられる内容の研修に参加し、月1回のスタッフ会議で報告会を設けているが、いつでも職員が内容を振り返ることができるような資料の保管をしていない。	権利擁護に関する制度、人権教育・啓発活動について職員は理解をする。	権利擁護に関する制度、人権教育・啓発活動に関するテキスト・研修記録をわかりやすく保管する。	12ヶ月